

= 普及情報 =

No. 2

平成29年4月25日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題	J Aしまね斐川花卉品質向上研究会が県内の団体では初となる「花き日持ち品質管理認証」を取得
----	---

(ダイジェスト)

出雲市斐川町の切花生産者10名が「J Aしまね斐川花卉品質向上研究会」を組織し、「花き日持ち品質管理認証」を県内の団体としては初めて取得し、収穫から出荷にいたる作業を適切に行うことで、日持ち向上に努める取組みを始めました。

J Aしまね斐川花き部会（16名）では、消費者から切花の日持ち向上が求められていることに対応するため、昨年10月にM P S ジャパン株式会社から講師を招き、日持ち性向上対策の必要性と「花き日持ち品質管理認証制度」について研修会を開催し、取得に向けて生産者や関係機関で協議を重ねてきました。

そして、今年2月に開催された花き部会総会において団体での認証申請のために切花出荷者全員（10名）による「J Aしまね斐川花卉品質向上研究会」を立ち上げ、作業の改善等に取り組んだ結果、3月23日の現地審査を経て、4月1日付けで認証されました。

県内では、「花き日持ち品質管理認証制度」を農林大学校と2戸の生産者が認証を取得しており、生産者団体での認証は初めてです。

申請にあたって、生産者は調製作業場の整頓、バケツの洗浄やハサミの消毒などの日持ち向上のポイントについて情報共有しました。審査員からはバケツ洗浄時に柔らかなスポンジを使用することや生産者自らが日持ちの確認することなどの貴重なアドバイスをいただきました。

研究会では、これから出荷されるトルコギキョウなどの切花の日持ち向上のための作業改善の取組みや認証を取得したことを消費者にPRする活動に取り組む計画としており、普及としても関係機関と連携して支援することとしています。



現地審査の状況